



## ◇外部機関と連携したキャリア教育の推進◇

生徒たちが社会で生きる力、社会人としてのスキルや専門技術を身に付けるためのキャリア教育の推進には、外部機関と連携した体験活動が必要不可欠と考えます。高校の教育現場に、ロボティクスや ICT 等の最先端技術の導入は難しく、この先も、外部機関の協力のもと多様な体験活動を進めていきたいと考えています。これまで実施してきた外部機関との連携活動を紹介します。

～生物資源科～

### [IoT 自動運転田植機操作実習 協力企業：(株)秋田クボタ]

5月26日、生物資源科3年生の作物班6名の生徒を対象に、自動運転田植機の操作体験実習を行いました。この田植機は、農業のIoT化が進む中でGPSセンサーや情報データを駆使して開発されたもので、正確に運行できることは勿論のこと、運転しながら苗や肥料の補給もできます。また、この日は、課題研究で取り組んでいる密播疎植田植えをこの機械を使い実施しました。自動運転を体験した生徒たちは、最先端技術の田植機に感動していました。



### [無人ヘリ・ドローンの実践特別実習 協力企業：(株)池田]

6月4日、生物資源科3年生の作物班6名の生徒を対象に、無人ヘリとドローンによる地域一斉除草剤散布の見学・実践実習を行いました。ヘリの薬剤の充填



から散布の見学、ドローンの体験操作を行いました。ドローンもGPSセンサーを活用し、水田の隅々を正確にキャッチして農薬を散布する飛行に、生徒たちは驚きを隠せない様子でした。

### [高校生のための農業セミナー 主催：秋田県農林部]

7月13日、生物資源科の2年生32名が、北秋田地域振興局農業振興普及課の主催による標記セミナーに参加してきました。

午前は、大館市の陽気な母さんの店(株)で、そば打ち体験と農産物販売所の見学をし

した。初めてのそば打ち体験は、打ち粉への微妙な水回しやこね方、練り方、麺棒で割れないように伸ばす作業に四苦八苦しなながら真剣に取り組んでいました。

午後は、えつりファーム(株)でエダマメやニンニク、アスパラガスの園芸メガ団地の見学をしました。生徒たちは、エダマメ生産日本一を目指している秋田県の園芸メガ団地の広さに圧倒された様子でした。

### ～緑地環境科～

#### **【伝統工芸体験学習 主催：北秋田森林・林業振興会、秋田県農林部森づくり推進課】**

2月3日、緑地環境科2年生の森林環境コースに所属している生徒11人が、(株)大館工芸社を訪れ、曲げわっぱの製作に挑戦しました。この体験活動は、秋田県の伝統工芸に触れることは勿論のこと、木材の利用及び加工の理解を深め林業就労への意欲を促すことをねらいとしています。



#### **【測量設計出前講座 主催：秋田県県土整備コンサルタンツ協会】**

9月15日、緑地環境科2年生の環境土木コースに所属する生徒14人が、最新測量機器やドローンを活用した測量について学習を深めました。測量や設計、施工に関する仕事について説明を受けた後、トータルステーションや電子レベルの操作実習を体験することができました。丁寧な指導のもと最新機器の操作では、緊張感とその高性能な機能に感心していました。また、ドローンを活用した測量や地上の3Dモデルや3次元点群データの作成についての解説に、生徒たちの興味津々な様子が伝わってきました。



#### **【高性能林業機械操作実習 主催：秋田県農林部森づくり推進課】**

10月20日、緑地環境科1年生の森林環境コースに所属する生徒13人が、秋田市雄和の森林・林業研究研修センターで高性能林業機械の学習活動を行いました。研修では、機械の説明を受けたあとに操縦を体験しました。

